



株式会社 小学館ミュージック&デジタル エンタテインメント

ハイビジョン化が進む映像制作を支えるストレージ

— パフォーマンスの高さで制作環境の変化にもストレスなく対応



「株式会社 小学館ミュージック&デジタル エンタテインメント」

アプリケーション

CG制作・WEBモバイル制作の現場におけるデータの保存・共有ストレージ

課題

地上波デジタル放送のスタートを控え、それまでのSD制作からHD制作へと制作環境の移行を予定していた株式会社小学館ミュージック&デジタル エンタテインメント。旧ファイルサーバではディスク容量が足りず、リプレイスする必要性に迫られました。

Isilon IQ のメリット

同社では複数の製品を検討した結果、以下のような観点からIsilon IQを選定しました。

- HD映像コンテンツの制作に必要な高速スループット
- 環境変化に合わせて容量を柔軟に拡張できる点
- 映像・エンタメ業界での豊富な導入実績
- 運用・管理の容易さ

小学館グループの一員として映像制作、WEB・モバイル制作などを展開

株式会社 小学館ミュージック&デジタル エンタテインメント（以下、SMDE）は、親会社である株式会社小学館集英社プロダクションのCG部門・音楽部門が独立し、1988年に設立されました。小学館グループの一員として、デジタル技術を使用した映像制作、CMやWEB・劇場映画・キャラクターデザインなどの映像コンテンツ制作と、TV番組・劇場映画の音楽出版、楽曲の原盤及び著作権の管理・運営等を行っています。現在では音楽部門、CG部門、WEB・モバイル制作部門の3部門が大きな柱となっています。

デジタルコンテンツ部システム課では、これらの部門のバックエンドにあるシステムの運用・管理及びWEB・モバイル関連のプログラム制作を行っています。

2011年の地上波デジタル放送への全面移行を控え、昨今ではハイビジョン放送を前提としたHD対応による映像制作・納品が制作会社に求められるようになってきました。SMDEにおいても、2008年度よりハイビジョンでの映像作品の制作がスタートすることになりました。

HD制作がスタートすれば、取り扱うデータ容量はSDの4倍から7倍程度に増加すると予想されました。制作過程のファイルを保存するためのファイルサーバが従来システムでは容量不足となるため、2007年夏頃からリプレイスの検討を開始しました。



株式会社 小学館ミュージック&デジタル エンタテインメント
デジタルコンテンツ部
システム課 チームリーダー
金子一氏

ハイビジョン映像の制作スタートを控え ファイルサーバのリプレースを検討

Isilon IQ導入の経緯について、同社デジタルコンテンツ部システム課の金子氏は次のように語ります。

「以前のファイルサーバは、HDDの増設が容易にはできない点が問題でした。HD映像制作がスタートした時に、扱うデータ容量が実際のところどれくらい増加するかはなかなか掴めません。増設したい時に柔軟に増設できるファイルサーバが必要でした。次期機種を導入するにあたって複数ストレージ製品を検討しました」

ストレージ製品を選ぶにあたってSMDEでは次のような条件を挙げました。第一に、耐久性や信頼性。放送局向けのコンテンツは時間との勝負であり、ほんの少しのトラブルが納品事故にもつながりかねません。その意味では、壊れにくい製品であることが重要でした。同じ意味で、スループットなどのパフォーマンスも重視されました。HD制作においては、従来のSDと比較して数倍の容量のデータを扱います。扱うデータが大きくなっても、データのやり取りに従来以上の時間をかける訳にはいきません。大容量のデータに見合ったスループットが求められました。

また、今後番組ラインの増加があればやはりデータ容量は増加します。テレビ番組、CG映像程度であれば余裕がありますが、映画制作が行われることになれば、必要なディスク容量は膨大なものになります。その可能性も考え、ディスク増設に容易に対応できる製品であることが必要でした。さらに、メンテナンスの容易さ。以前のシステムではGUIベースで操作する必要があり、メンテナンスが煩雑な点が課題でした。

エンタメ業界での豊富な事例を見て Isilon IQ導入を決定

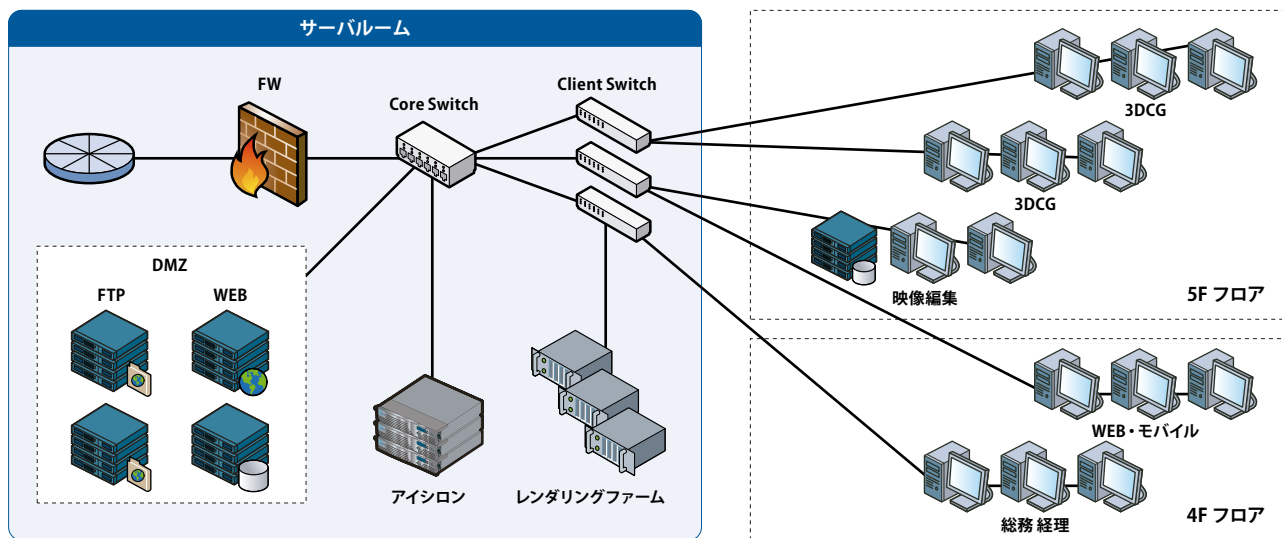
「これらの条件で各製品を検討したところ、どの製品も実力は拮抗していました。選定条件の中でも重視したのはディスク及びファイルシステムのパフォーマンスの高さです。また、選定にかける時間が短かったこともあり、同業他社での導入実績も重視し、その結果Isilon IQの導入を決定しました」(金子氏)

単一ファイルシステムで10GB/秒のトータルスループットを実現できる点はIsilon IQの大きな特長の一つです。また、大規模な共有データプールに高速でリード/ライトアクセスするのも最適です。ゆえに映像・音楽制作などの現場では、ワークフローの共有ストレージとして多くの企業がIsilon IQを導入しています。この点が目に留まることになりました。2008年2月中旬頃にIsilon IQ 6000iを3台導入。仮設置から約2週間で従来のファイルサーバからデータを移行し終わり、3月には本稼働となりました。「この規模のシステムとしては極めて短期間に導入できたと思います」(金子氏)

Isilon IQ導入と同時にHD制作がスタートした同社。「旧ファイルサーバでSD制作」から「新サーバでHD制作」へと制作環境は変わりましたが、速度的な問題は全くなく、制作スタッフにとってはシステム環境の変化をほとんど感ずることなく、新システムへと馴染むことができたそうです。

「年々プロジェクトは増え、質の高いコンテンツが求められていきます。ストレージも、もっと信頼性・パフォーマンスがアップしていくことを期待しています」(金子氏)

SMDEが次世代のエンタテインメント サービスを提供するために、Isilon IQクラスタストレージの果たす役割は今後も重要になっていきそうです。



開発元



アイシロン・システムズ株式会社

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-22-1 代々木1丁目ビル 12階
Tel : 03-5358-7188 (代表) Fax : 03-5333-4443
Email : sales-jp@isilon.com www.isilon.co.jp